

**令和2年度**  
(自)令和2年4月1日～(至)令和3年3月31日

**社会福祉法人 高瀬会  
事業報告書**

◎法人事業の概要報告	1 頁
○社会福祉事業	
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 古座川園	4 頁
介護老人保健施設 老人保健施設 あじさい苑	
老人保健施設 あじさい苑	8 頁
通所リハビリテーション	11 頁
在宅複合型施設 グリーンヴィレッジ古座川	
短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川	13 頁
高瀬会訪問介護ステーション	16 頁
高瀬会デイサービスセンター	18 頁
グループホーム もみの樹	19 頁
高瀬会地域密着型バーデンライフ・ケアセンター 湯ごりの郷	
軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷	21 頁
グループホーム 湯ごりの郷	23 頁
小規模多機能ハウス 湯ごりの郷	25 頁
ふれあいサロン ゆかし庵	27 頁
高瀬会第2訪問介護ステーション	30 頁
古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり	32 頁
○公益事業	
南紀ケアプランセンター	34 頁
南紀ケアプランセンター那智勝浦	37 頁
南紀ケアプランセンター串本	39 頁
高瀬会訪問看護ステーション	42 頁
配食サービスセンター	44 頁
湯ごりの郷配食サービス	45 頁
古座川町地域包括支援センター	46 頁
たかせ会記念診療所	49 頁
人材育成事業	50 頁



# 法人事業の概要報告

わが国では、高齢者の方が将来にわたって安定した介護保険制度が利用できるよう、その確立に取り組んでいる中、当法人におきましても「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」の理念のもと、県や町をはじめとする関係機関と連携し事業の運営を行っております。

令和2年度も、地域の社会福祉法人としての役割を担うため、安定した介護サービスはもとより、より質の高いサービスの提供に向けて職員一同取り組んでまいりました。

## 1. 法人の組織強化

法人組織のガバナンス強化をはかるため、公益性・非営利性を担保しつつ、社会的信用を損なわないよう適宜な職員の異動配置を実施するとともに、委託をしている会計事務所による月次巡回監査指導を実施し、適正な財務運営に努めています。

## 2. 防災対策などの強化

火災・地震・台風などの様々な災害発生からご利用者様の安全確保をはかるため、ご利用者様の協力を得ながら法人の「非常災害計画」にもとづき、毎年避難訓練などを行っています。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症対策が重要な課題となっているため、町の補助を受けて感染症や防災対策用の物品などを保管するための「備蓄倉庫」の設置を行いました。今後は、非常時に活用ができる物品などの確保や補填を早期に実施いたします。

## 3. 社会福祉法人としての地域貢献

社会福祉法人の責務となっている公益的な取り組みについては、地域交流など毎年様々な取り組みを行って来ましたが、今年度は新型コロナウイルス禍のため全て中止とさせていただきました。

## 4. 人材確保と定着

介護職員などの人材確保をはかるため、「ハローワーク串本・新宮」・「和歌山県就職情報サイト」・「田辺市社会福祉協議会紀南福祉人材バンク」などへの求人登録を継続的に行うとともに、「U I わかやま就職ガイド」「熊野地方企業紹介冊子」などにも掲載広告を行っています。

また、奈良県の「学校法人青丹学園」を訪問し、当法人の運営状況や就職・求人情報による啓発や、田辺市の紀南文化会館での「田辺就職フェア」に参加するなど、人材確保に対して精力的に取り組みました。

## 5. 人材育成

介護職員に必要な倫理性、知識、能力、技術などの専門性や、組織人としての心得を身につけるため、様々な施設外研修に参加しました。その主なものは次のとおりです。

- ・主任介護支援専門員研修（1名：延べ11日間）和歌山市
- ・人権擁護推進員等研修（4名）串本町
- ・高齢者権利擁護推進委員養成研修（7名）田辺市
- ・介護施設における看取りケア研修（3名）那智勝浦町
- ・指定介護保険事業者研修会（2名）田辺市
- ・外国人介護人材指導者育成研修（2名）
- ・新型コロナウイルス感染症に係る社会福祉施設研修会（6名）新宮市・串本町
- ・ケアマネジメント勉強会（6回：8名）串本町

また、インターネットを活用したオンライン研修会については、「感染症対策研修会」・「発達障害の雇用について」・「介護事故予防研修・認知症介護指導者及び介護実践リーダー研修修了者に対するスキルアップ研修」など、9名の職員が参加をしています。

内部の事業所内研修では、事業所のそれぞれの課題となっている事柄に対して引き続き研修を行いました。

また、国際貢献の一翼を担う外国人技能実習制度を活用した人材育成では、6名の雇用を予定しておりましたが、新型コロナウイルス禍によりその進展を阻害されている状況となっております。

## **6. 介護職員などの処遇改善**

- (1) 「特定処遇改善手当」については既に創設実施済ですが、令和2年4月から新たに「処遇改善手当」の支給を実施し、毎月介護職員に対して手当の支給を開始しました。
- (2) 超過勤務手当の基礎となる1時間当たりの時間給算定においても、上記の「特定処遇改善手当」および「処遇改善手当」を反映させました。
- (3) 正規職員への登用試験により、1名を正規職員として登用を行いました。
- (4) 職員の健康対策をはかるため、年次健康診断・介護職員の腰痛検査およびストレスチェック診断を実施しました。

## **7. 人権尊重**

「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結し、職員の人権意識高揚のための職場内研修などの実施を行うとともに、人権啓発ポスターの掲示や人権情報誌の回覧を行い人権についての啓発を行っています。

## **8. その他（新型コロナウイルス対策）**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厚生労働省や和歌山県の情報などを得ながら、引き続き対策を行っています。

# 特別養護老人ホーム 古座川園

## 1. 施設サービス稼働率について

ご利用者様の入退所、入退院の連携をはかり、施設サービスの適切な提供に努めました。結果、年間の稼働率は 95.86% となっています。月間稼働率 98% 以上の月は 3 月でした。

- ・ 入院の実績については年間約 0.9% であり、前年比 2.4% 減となり、実人員は 10 名で 1 ヶ月あたり平均 0.83 名の方が入院されたこととなります。
- ・ ご利用者様の退所、入所にかかる空床については 3.8% であり、感染症による入所対応の遅れなどによる影響のほか、入退所の調整に時間を要する件などがあり、入所希望者の状況確認をスムーズに行えるよう、努めていく必要があります。
- ・ 空床でのショートステイをご希望されているご利用者様の受け入れについては 7 名（延べ 137 日）の実績であり、0.7% の稼働となっております。
- ・ 入退所の状況は平年並みであります。入院人数が少なく推移し、1.54% の稼働率増となりました。しかし退所者が重なった時期や、新型コロナウイルスの影響による、入所調整に時間がかかる状況がありました。安定した入所の受け入れを行っていくうえで、継続して職員の勤務体制の確保が課題となっております。

## 2. 自立支援介護への取り組み

ご利用者様の自立に向けた生活を支援し、基本ケアである「水分」「食事」「排便」「運動」それぞれのケアについて、毎月ご利用者様個々の状態を検討し、ご本人の状態に応じたケアを実践するよう努めました。水分摂取量では、ご利用者様の一人ひとりの状態を検討し、必要な水分量を設定し、無理なく摂取できるように支援しました。排せつの支援においては、ご自身の身体状況に応じて日中のトイレでの排せつができるよう取り組み、可能な限り自立した排せつを支援しました。機能訓練については、専従の理学療法士が機能訓練計画を作成し実施しました。歩行練習へのアドバイスや身体機能の評価を行うことで、自身の有する能力を最大限に活用できるよう支援しました。

## 3. 看取り介護（ターミナルケア）

施設での看取りを希望されるご利用者様やご家族様に対して、医師とも相談の上看取りケアを実施しました。今年度は、古座川園で 8 件の看取り介護を実施し、退所者の 61.5% の方が施設での看取りを希望され、対応させていただきました。

看取りケアを希望される方が多くなってきてる状況があります。

## **4. 自分らしい生き方への支援・認知症ケアの実践**

感染症対策の関係で、ご家族様や地域の方々との交流がほとんど実施できず、ご利用者様にとって、社会性の維持や自分らしさを感じていただける機会が少ない状況がありました。限られた状況の中で、どのようにしてご利用者様の望む生活の在り方に関わっていくかは難しい面があり、今後も検討を重ねながら実現できることに取り組んでいく必要があります。事業所内で認知症の研修を実施し、認知症ケアへの理解を深めるよう努めました。

## **5. 身体拘束廃止への取り組み**

「身体的拘束適正化委員会」を設置し、毎月身体拘束に該当する事例がないか話し合いを行いました。虐待や身体拘束について職員研修を年間2回行い、虐待の起り得る状況、身体拘束による弊害について理解を深めました。身体拘束に該当するケースがあった場合には必要な手順を行い適切に対応しました。

## **6. リスクマネジメント**

リスクマネジメント委員を中心に、ヒヤリ・ハット報告および事故報告の内容について分析・検討を重ね、事故の再発防止や未然防止に取り組みました。月間の目標に「事故ゼロ」を掲げ、職員が緊張感を持って目標の達成に努め、結果、月間ゼロには至りませんでしたが、件数を減らせる取り組みであったと実感しています。骨折を伴う重症事故が4件あり、引き続き事故防止の取り組みを高い意識で継続していくかなければなりません。

## **7. 人材育成・研修会などへの参加**

感染症対策により、予定していた外部研修が中止や延期になるなど、参加が難しい状況でしたが、感染のリスクを抑えながら可能な範囲で参加しています。主に、コロナウイルス対策の会議・研修に参加し、感染症対策について学びました。また、WEB研修を取り入れ、リモートで参加することにより感染のリスクを抑え、かつ施設にいながら外部研修に参加できる新たな取り組みを実施し、その有効性を実感しました。

## **8. 入所検討委員会の運用**

入所検討委員会の実施について、感染症対策もあり、会議がなかなか開けない状況でしたが、入所指針に則り公正な入所判断を行うよう心掛けて実施・運用しました。

## 9. 行事・レクリエーションの実施

新型コロナウイルス感染症対策により、交流行事は中止しました。その対応策として、施設内でのレクリエーションの充実をはかり、ご利用者様に楽しんでいただくプログラムを企画しました。

## 10. 健康管理

医師による定期的な回診や看護職による健康チェックなどにより、ご利用者様一人ひとりの健康状態を把握し、疾病の予防と早期発見に努めました。また必要に応じてご本人・ご家族様とも相談し、治療に対する希望や意向の確認を行い、医師と共同して希望する治療が受けられるよう努めました。入院者数は前年より67%減少しました。

## 11. 感染症・褥瘡発生の予防

今年度も新型コロナウイルスの感染症対策として、面会の中止、職員の健康状態の管理、検温の実施、手洗い・消毒の徹底、地域・事業所間の行事の中止などの対応を継続して行いました。職員に対して繰り返し行動規範の啓発を行い、感染症対策の研修を行いました。衛生用品については、マスクや消毒液の十分な確保に努めました。褥瘡については、月間目標に「褥瘡ゼロ」を掲げ、集中して褥瘡発生予防対策に努め、医療と介護の連携をはかりながら適切なケアを行いました。

### 入所利用者実績(令和2年度)

(1) 市町村別入所者数（令和3年3月31日現在）

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	他府県	合計	R元年度	H30年度
男性	9	3	0	0	0	0	12	11	14
女性	18	11	3	4	0	1	37	36	36
合計	27	14	3	4	0	1	49	47	50
待機者数	10	31	2	1	0	1	45		

(2) 年齢別入所者数（令和3年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢	R元年度	H30年度
男性	0	2	4	6	0	12	99	98	97
女性	0	4	15	18	0	37	99	98	98
合計	0	6	19	24	0	49	平均89.3	平均88.6	平均88.2

## (3) 介護度別入所者数（令和3年3月31日現在）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均	R元年度	H30年度
男性	1	0	5	5	1	12	3.4	3.6	3.7
女性	0	0	6	20	11	37	4.1	4.1	3.8
合計	1	0	11	25	12	49	3.9	4.0	3.9

## (4) 入退所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度	H30年度
入所	3	0	2	1	0	1	2	1	2	1	2	0	15	10	11
退所	1	1	1	0	1	2	3	2	1	1	0	0	13	13	11

退所者の平均在籍年数	退所者数	平均年齢	介護度	平均在籍年数
	R2年度	13	91	4
	R元年度	13	89.2	4.3
	H30年度	11	88.2	4.4

## (5) 月別延べ入所者数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度	H30年度
入所	1392	1487	1432	1549	1508	1397	1438	1415	1418	1457	1345	1519	17,357	17,215	17,510
短期入所					7	17	31	13		10	28	31	137	46	73
合計	1392	1487	1432	1549	1515	1414	1469	1428	1418	1467	1373	1550	17,494	17,261	17,583
1日平均	46.4	47.9	47.7	49.9	48.6	47.1	47.3	47.6	45.7	47.3	49.0	50.0	47.9	47.3	48.2
稼働率	92.8	95.9	95.4	99.9	97.7	94.2	94.7	95.2	91.4	94.6	98	100	95.86%		

## (6) 身体拘束ゼロへの取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	226.5	108.5

## (7) ターミナルケア取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	退所者割合
利用者数	1	1	0	0	0	1	3	2	0	0	0	0	8	61.5%

## (8) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度	H30年度
ヒヤリハット	5	18	15	30	9	10	18	10	8	23	18	15	179	79	136
事故報告	1	4	4	7	6	5	5	3	1	4	2	3	45	48	33
苦情受付	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1

# 老人保健施設 あじさい苑

## <施設>

### 1. 運営について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、尊厳の保持と自立支援を目的とし、生活機能向上をめざしたリハビリテーションによる在宅復帰および在宅療養支援・看取りケア・認知症ケアなど、地域の実情に応じたニーズへの対応に努めました。年間延べ利用者数は 27,641 名(対前年比 99.4%)、1 日平均利用者数は 75.7 名、稼働率 94.6% (同一0.4%) ですが、在宅復帰支援により介護報酬基本型算定を達成しています。

### 2. リハビリテーションによる在宅復帰支援

生活機能の維持向上を目指す効果的なリハビリテーションを実施し、日常生活動作や精神機能の向上をはかることで在宅復帰支援に取り組みました。今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、短期入所利用の中止や密になる集団リハビリの回数の減少があり、年間延べリハビリ実施者数 6,488 名 (対前年比 80.7%) 内、短期集中加算リハビリ実施者 451 名 (同 25.6%)、短期入所個別リハビリ加算実施者 203 名 (同 76.6%) となっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で外泊が中止になり、在宅復帰へのご家族様の協力が得られない状況になってしまったため、在宅復帰者数は、年間延べ 12 名 (同 80.0%) でした。

### 3. 認知症の人の生活支援

認知症実践者リーダー研修を修了した職員を中心として、認知症の人の人格を尊重した専門性あるチーム支援を行うことで、症状の緩和に努めました。また、身体的拘束適性化・高齢者虐待防止委員会にて 3 本柵やセンサー設置の可否をチームで検討し、不適切ケアにつながらないよう虐待の芽を摘む取り組みを行いました。

### 4. ターミナルケアによる看取り介護支援

医師の終末期診断をもとに、ご利用者様またはご家族様の意向を確認し、同意を得たうえで、看取り（終末期）介護を実施しました。コロナ禍で自由に面会のできない状況でも、ご家族様へのこまめな連絡や感染予防したうえでの面会の実施により、安心していただけるよう、医師・看護職員・介護職員・支援相談員などのチームでグリーフケアに努めました。年間 30 名の退所者の内、施設での看取り介護実施者数は 9 名となっております。

## 5. 医療の提供

日常の健康や病状管理から異常の早期発見や対応を行うことで、重症化の防止をはかるとともに、所定疾患（肺炎・尿路感染症など）における治療や緊急時の医療処置など、施設で可能な医療を提供しました。所定疾患療養に係る治療については、年間延べ 52 名（治療日数 226 日加算算定）に対して行いました。医療ニーズに対応するためにも、医療スタッフの確保が喫緊の課題です。

## 6. 感染症、褥瘡発生予防対策の取り組み

感染症または食中毒の予防およびまん延防止対策のため、衛生管理推進員や感染症および褥瘡発生予防対策委員会を通じ、感染予防対策を実施しました。特に新型コロナウイルス感染症予防対策として、感染防護具の着脱法や手指消毒、発生時の対応などの研修を行いました。

## 7. 短期的な利用における在宅療養支援

必要に応じた個別リハビリテーションや、介護者のレスパイトなどを目的とした短期入所療養介護サービスを提供することで、在宅生活の継続を支援しました。空床利用も含め、年間 657 日の短期入所療養サービスを提供しました。

## 8. 設備や福祉用具における快適な環境づくり

ご利用者様の安全・自立支援を促すための福祉用具活用については、積極的に取り組んでまいりましたが、プライバシー空間づくりについては、家具設置の検討が課題となっております。また、介護従事スタッフの業務効率化をはかるため介護ロボットを導入しました、より有効的な活用が今後の課題です。

## 9. 安定したご利用者様の確保

在宅復帰支援により、稼働率は対前年比 -0.4% の結果になりましたが、目標は達成しております。来年度は、地域貢献活動の実施により、基本加算型達成を目標に取り組み、在宅復帰支援の地域理解を深め、よりスムーズな入退所を行います。

（在宅復帰・在宅療養支援等目標）

	目標値	令和 2 年度年間平均値
在宅復帰率（前 6 か月）	30%以上	56.4%
ベッド回転率（前 3 か月）	5%以上	2.7%
入所前後訪問指導割合（前 3 か月）	30%以上	75.7%
退所前後訪問指導割合（前 3 か月）	30%以上	100%

## 老人保健施設あじさい苑 令和2年度利用実績

(1) 市町村別入所者数(単位:人)1名短期利用枠 令和3年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	R2年度合計	R元年度合計
男性	3	8	1	0	1	0	13	10
女性	26	30	5	0	0	1	62	65
合計	29	38	6	0	1	1	75	75
比率	38.7%	50.7%	8.0%	0.0%	1%	1%	94.9%	94.9%

(2) 年齢別構成 (単位:人) 令和3年3月31日現在

	69歳以下	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	R2年度合計	最高齢	R2年度比率	R元年度比率
男性	0	1	5	6	1	13	100	17.3%	13.3%
女性	0	2	22	34	4	62	103	82.7%	86.7%
合計	0	3	27	40	5	75	—	100%	100%

(3) 介護度別構成(単位:人) 令和3年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	R2年度合計	R2年度平均介護度	R元年度平均介護度
男性	3	2	6	1	1	13	2.61	2.7
女性	13	10	17	13	9	62	2.92	2.94
合計	16	12	23	14	10	75	2.87	2.91

(4) 月別入所者実績(短期利用含む)・定員80名

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計	R元年度合計
月別延人員	2,270	2,301	2,270	2,376	2,356	2,322	2,354	2,285	2,355	2,380	2,068	2,304	27,641	27,817
月平均(人)	75.7	74.2	75.7	76.6	76.0	77.4	75.9	76.2	76.0	76.8	73.9	74.3	75.7	76.0
稼働率(%)	94.6%	92.8%	94.6%	95.8%	95.0%	96.8%	94.9%	95.2%	95.0%	96.0%	92.3%	92.9%	94.6%	95.0%
在宅復帰者数	0	1	1	2	0	0	1	2	2	1	0	2	12	15

(5) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計	R元年度合計
ヒヤリハット報告	65	85	116	119	107	137	91	78	61	79	68	87	1,093	1,073
事故報告	5	3	3	1	4	0	4	4	2	3	2	3	34	46
苦情要望	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	2

(6) 入所待機者数(令和3年3月31日現在)

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	R2年度合計	R元年度合計
男性	2	3	0	1	0	0	6	13
女性	3	5	2	1	0	0	11	13
合計	5	8	2	2	0	0	17	26

# 老人保健施設 あじさい苑

## < 通所リハビリテーション >

### 1. 運営について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、ご利用者様ができるだけ、居宅において自立生活を継続できるよう、生活機能向上を目指したリハビリテーションおよび生活介護支援を提供しました。今年度は、必要に応じた短時間サービス提供にも取り組みました。ご利用者様は、古座川町・那智勝浦町・串本町・太地町の4市町村から、年間延べ利用者数7,130名（対前年比122.4%）、1日の平均利用者数は23.4名と昨年度より1日4.5名増となり、一昨年より1.8名増となっています。今後は、古座川町・串本町を中心にご利用者様を積極的に受け入れ、在宅支援として必要なリハビリを提供し、地域ニーズに応えられるよう努めていきます。

### 2. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用者様およびご家族様の意向や希望を尊重し、生活機能の向上をめざした支援を計画的に実施しました。また、ご利用者様一人ひとりの倫理的配慮、価値観を尊重することの認識を深め、職員の言葉使いや態度など、基本的な姿勢をはじめ不適切な行為の検証を実施しました。

### 3. リハビリテーションによる在宅生活の継続支援

ご利用者様の在宅生活が長く継続できるよう、一人ひとりに目標を設定し、その目標に沿ったリハビリテーションを実施することで生活機能の維持向上をはかり、自律した社会生活が送れるよう支援しました。また、質の高いリハビリテーションにより、要介護状態から要支援状態に改善される方もおられ、生活機能向上を実現しております。

### 4. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

ヒヤリ・ハットや事故報告などをもとに、介護事故の未然防止や重大事故防止に取り組みました。また、日頃からご利用者様やご家族様からの意見や要望を聞く体制を整え、苦情への速やかな対応を行いました。

### 5. 安定したご利用者様の確保

古座川町・串本町のご利用者様を中心に、新規・利用日の追加を行いました。平均利用者数は1日23.4名と目標には届きませんでしたが、今後は積極的にご利用者様を増やし、安定した事業運営をはかります。

## 老人保健施設あじさい苑デイケア 令和2年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
元年度	49	554	1,318	1,650	1,265	737	252	5,825	54.0%
2年度	209	501	2,645	1,844	922	647	362	7,130	66.8%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人員	元年度	67	70	68	61	61	63	65	63	59	55	62	69	763	97.3%
	2年度	66	81	86	84	81	83	78	77	77	73	73	70	929	121.8%
延べ人員	元年度	544	538	483	508	480	466	482	494	443	397	461	529	5,825	87.9%
	2年度	499	585	651	697	659	654	511	593	608	531	542	600	7,130	122.4%

(3) 利用者平均介護度

平均	元年度	2.27
介護度	2年度	1.86

(4) 年間営業日数

年間	元年度	308
営業日数	2年度	305

※要支援1は0.5換算

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和3年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	その他	R2年度合計
男性	11	14	0	0	0	25
女性	26	23	2	1	0	52
合計	37	37	2	1	0	77

R元年度
27
45
72

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和3年3月31日現在

65歳まで	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
0	0	3	10	11	16	25	12	77

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計
ヒヤリハット報告	4	1	3	1	3	3	4	2	2	2	3	3	31
事故報告	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	6
合計	4	1	4	1	3	4	5	2	3	2	4	4	37

R元年度合計
47
8
55

# 短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川

## 1. 運営について

運営理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、ご利用者様に対し、個々に応じて必要とされる指定短期入所生活介護サービスを提供することにより、ご利用者様ができるだけ自らの持つ能力を活かし、意思や人格を尊重した自立生活を営めるよう支援するとともに、ご家族様の身体的および精神的負担の軽減がはかれるよう良質のサービス提供に取り組んできました。

介護保険制度による利用者数は、年間延 7,986 名、加えて古座川町委託による要介護者等短期入所事業を行い、これらの利用者を合計すると、年間延利用者数は 8,085 名で、1 ヶ月の利用者は 673 名、1 日平均 22.2 名でした。

市町村別の実績では、古座川町 53.3%、串本町 37.7%、太地町 4.5%、那智勝浦町 4.2% でした。また介護度別では、要介護 3 が 39.3%、要介護 4 が 18.9% で、全体の約 6 割を占めていました。

## 2. 処遇について

### 日常生活

朝の体操をはじめ、ADL ゲームなどへの参加や声かけあるいは誘導などを行い、ご利用者様の心身機能の維持に努めました。また、施設内の清掃・消毒・換気には特に気配りをし、コロナ禍においても安心して過ごせる環境の提供に努めました。

### 健康管理

看護職による健康チェックにより、健康状態の把握と疾病などの早期発見に努めました。また、病状などの変化・要望に対して、ご利用者様および主治医と連携し、ご利用者様が安心かつ快適に過ごすことができるよう取り組みました。

### 食事

ご利用者様のご要望や検食による職員の意見を反映させた献立により、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、ご利用者様の心身の状況や嚥下状態に応じた食事の提供に努めました。

### 入浴

週 2 回の定期入浴と週 1 回の随時入浴により、一般浴槽と機械浴槽を使用して、ご利用者様の身体状況にあった入浴を提供しました。

### 排せつ

ご利用者様の希望や心身の状態に応じて、トイレあるいはポータブルトイレを使用し、声かけ・誘導などの介助を行いました。また、おむつを使用されているご利用者様については、定時交換および随時交換をしました。

### **3. 意志や人格を尊重した生活支援**

ご利用者様・ご家族様の思いや要望を尊重し、身体・心理、社会的側面から支援の必要性を導き出しながら自立度が向上できるよう、計画的な生活支援を実施しました。退所時には、ご利用者様の生活状況や身体状況について、「生活メモ」によりご家族様に報告し、退所後の自宅生活につながるようサポートを行いました。

### **4. 研修体制の充実**

新型コロナウイルス感染症予防を重視し全体研修の開催・参加を控えましたが、事業所内での各種研修をこれまで通り積極的に行い、職員の資質・知識・技術向上に努めました。

### **5. 身体拘束廃止・高齢者虐待防止**

「身体的拘束等の適正化のための指針」に則り、ご利用者様の尊厳を守るために、不要な行動制限をしないよう事業所内研修などで周知徹底をはかりました。

また、委員会活動や研修を通して、身体拘束行為が高齢者虐待につながりやすいことの理解を深め、虐待防止対策についての知識向上に努めました。

### **6. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み**

「リスクマネジメント委員会」を設置し、「ヒヤリハット報告書」・「事故報告書」をもとに事例検討を行うとともに、ご利用者様の心身の状態や取り巻く環境を十分に把握し、職員間で情報を共有することにより、再発の防止に取り組みました。

また、「苦情申し出窓口」を設置するとともに苦情受付担当者を配置し、苦情が発生した場合には「苦情解決要綱」にしたがい、積極的かつ速やかに対処しサービスの向上に努めました。

### **7. 感染症の発生予防とまん延予防対策**

「感染症委員会」の活動を通して、感染症発生予防とまん延防止対応を迅速に行いました。また、職員に対し専門職からの指導や研修を通じて感染症に対する知識の習得をはかり、その予防に努めました。

### **8. 交流行事・地域との連携**

新型コロナウイルスによる感染予防の観点から、他事業所や地域の方々との交流行事などは手控える1年となり、稼働率も88.6%となりましたが、コロナ禍の中にあってもサービス提供を休止することなく、事業所運営を行うことができました。

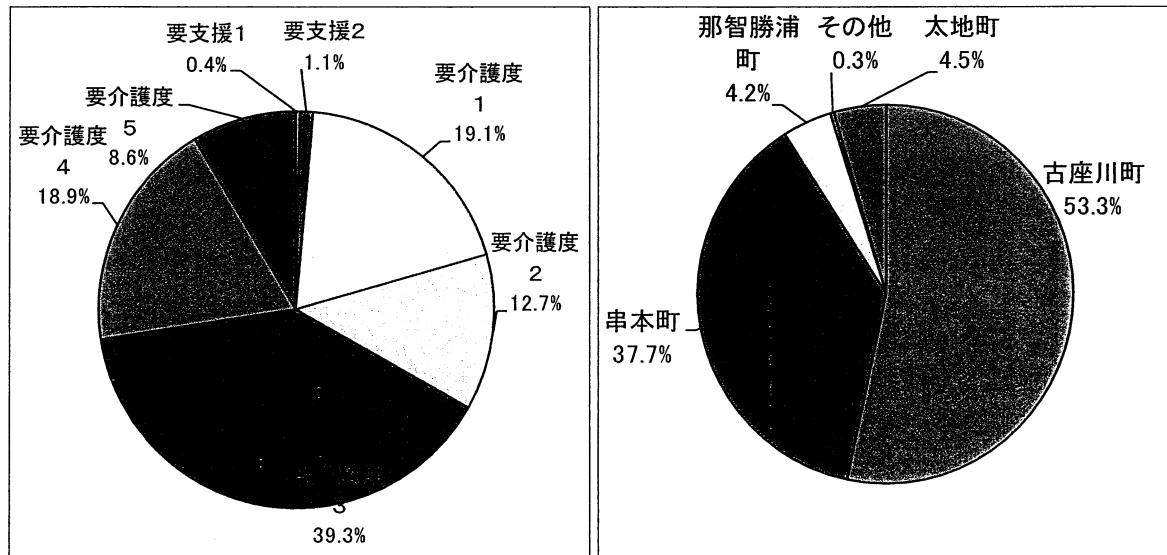
今後も、継続して居宅介護支援事業所との密な連携および緊急ショートへの柔軟な対応を行い、安心してご利用いただけるサービスの質を確保し、皆様の要望に応えられるよう努めます。

## 令和2年度 短期入所施設 実績

### 1. 介護保険サービス

要介護度別	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
件数	29	84	1,526	1,014	3,142	1,506	685
合計							7,986

市町村別	古座川町	串本町	那智勝浦町	その他	太地町	新宮市	合計
件数	4,257	3,008	338	26	357	0	7,986



### 2. その他

町単事業(古座川町)
99

### 3. 令和2年度 実績計

総実績	1日平均	稼働率
8,085	22.2	88.6%

# 高瀬会訪問介護ステーション

## 1. 運営について

ご利用者様が住み慣れた居宅において、有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう、身体の介護および生活全般にわたる家事などを適切に実施しました。

事業所が地域社会の一員であることを自覚し、地域の皆様、ご利用者様ならびにご家族様から信頼されるよう、相談・助言にも関わり事業の運営に努めました。

## 2. サービスの実施状況

- (1) 居宅（介護予防）サービス計画書にもとづき、個別援助計画を作成してご利用者様やご家族様のご要望に応じたサービス提供につとめました。
- (2) サービス提供にあたっては、ご利用者様の意思および人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立った支援を心がけました。
- (3) 地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、その他の福祉・医療保健サービス事業者との連携にも努め、サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- (4) 各訪問介護職員それぞれが専門職としての責任感と誇りを持ち、ご利用者様にきめ細かなサービスを提供できるよう情報の収集に努めました。
- (5) 単にサービスを提供するだけではなく、コミュニケーションをとりながら生活の質の向上（QOL）につとめました。

## 3. サービス内容について

- (1) 入浴の介助や身体の清拭、おむつ交換や更衣介助など、身体介護をご利用者様の負担を少なく適切に行い、不自由なお体でも清潔に保てるよう支援しました。
- (2) 掃除・洗濯・炊事・買い物などの家事全般を適切に援助して、ご利用者様やご家族様の負担が軽減できるようました。
- (3) ご利用者様やご家族様の身近な相談相手として、介護に関することや生活状況について関係機関などとも連携して適切に指導・助言しました。

## 4. 訪問介護員としての質の向上

地域での研修や医療・介護に関わる講演などへ積極的に参加し、訪問介護員としての質の向上に努め、事業内容の改善にもつなげました。

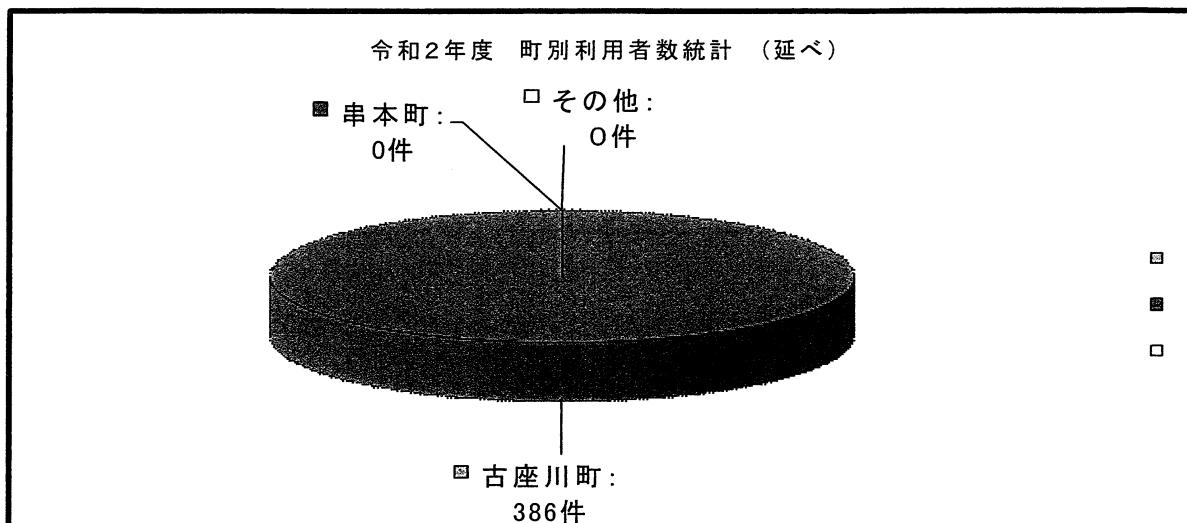
各訪問介護員には随時研修の機会を設け、介護技術や感染症対策の技術指導ならびに社会人としてのマナー研修などを実施し、質の高い訪問介護員となれるよう育成しました。

## 5. 苦情・要望への対応

ご利用者様やご家族様からの苦情・要望に対して、早期に解決できるようケアマネージャーや各関係機関などにも協力を仰ぎ、迅速かつ適切に対応しました。

幸い大きな苦情ととらえる事例もなく、一年間事業が運営できました。

## 令和2年度 訪問介護ステーション実績(統計)

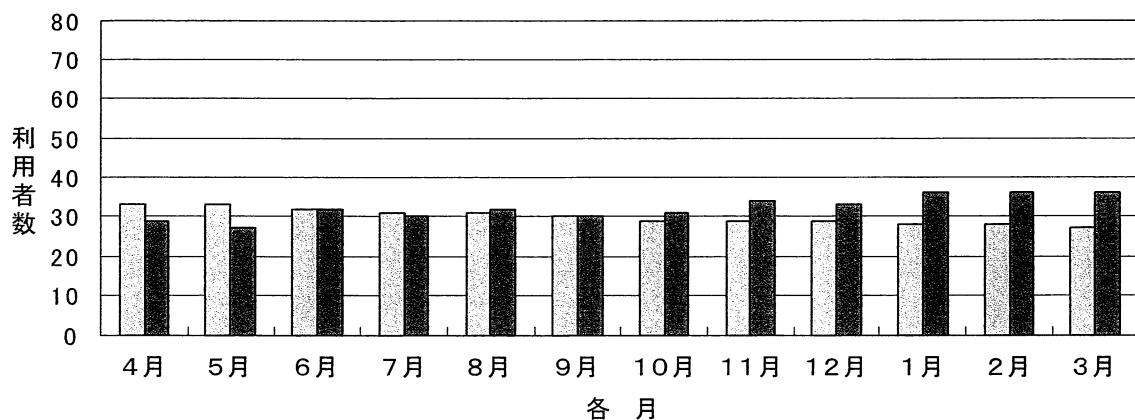


年間 利用者数 統計

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	4	3	14	4	2	1	0	29
5月	1	4	2	12	4	2	1	1	27
6月	1	5	3	13	5	3	1	1	32
7月	1	5	3	12	4	3	1	1	30
8月	1	4	4	12	3	4	2	2	32
9月	1	4	4	12	3	3	2	1	30
10月	1	5	5	12	3	3	2	0	31
11月	1	6	5	13	4	3	2	0	34
12月	1	6	5	13	4	2	2	0	33
1月	1	6	6	13	3	4	3	0	36
2月	1	6	7	14	3	2	2	1	36
3月	1	6	6	15	3	2	2	1	36
合計	12	61	53	155	43	33	21	8	386

前年度対比 月別利用者数

□R元年度 ■R2年度



# 高瀬会デイサービスセンター

## 1. 運営について

ご利用者様の減少、法人全体の経営・職員状況などの諸事情により、令和2年5月1日をもって休止とさせて頂き、今年度は4月のみの稼働となりました。

## 令和2年度利用実績

### (1) 要介護別年間延 이용자数（単位：人）

	通所型	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R元年度	344	193	96	1,864	743	283	318	41	3,882
R2年度	37	0	0	136	28	13	22	4	240

### (2) 実人員・延べ人員（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	R元年度	54	54	53	51	51	49	52	50	47	48	46	40	595
	R2年度	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
延べ人数	R元年度	350	353	327	345	332	319	342	335	296	304	296	283	3,882
	R2年度	240	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240

# グループホーム もみの樹

## 1. 役割を持って、安心できる暮らしへ

認知症があっても、ご利用者様が自ら力を発揮し、住み慣れた地域の中で幸せに暮らすことを目指し、ご利用者様一人ひとりが得意な事や好きな事で役割を持ち、また、ご家族様や地域との関係の中でも役割を持ち続けられる様に支援を行いました。

## 2. 身体拘束廃止への取り組み

身体拘束などの適正化をはかるため「身体的拘束適正化委員会」を設置し、定期的な委員会の開催と職員への研修を実施しました。

## 3. 開かれたホームを目指して

新型コロナウイルス感染拡大防止のため面会が中止となり、ご家族様や地域の方々の訪問や認知症カフェ、また、食事会・祭りなどの地域行事への参加や、保育園児・小学生との交流会など、地域に根ざした活動ができるよう支援を行うことができませんでした。

## 4. 介護サービス情報の公表と自己評価

地域の方々に選んでいただける施設になれるよう、標準化された介護サービス情報の公表を行いました。また自己評価にて、提供するサービスの質の評価を自ら行いました。

## 5. 運営推進会議を活かした取り組み

ケアの質の向上および地域に開かれた事業運営を行うため、ご家族様や地域の人々などから構成される運営推進会議(協議会)を年間6回開催し、事業活動状況の報告などを行うとともに、評価・要望・助言を得るよう努めました。

## 6. 稼働率の安定

ご利用者様の健康管理と適切なケアの提供により、ご利用者様が健康的な日常生活が送れるよう支援しました。

## グループホーム もみの樹 令和2年度 利用者実績

### (1) 市町別利用者数（令和3年3月31日現在）

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計	R元年度
男性	1	0	0	0	1	0
女性	2	0	0	6	8	9
合計	3	0	0	6	9	9
割合	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	100.0%

### (2) 年齢別利用者数（令和3年3月31日現在）

	69歳以下	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	合計	最高齢	R元年度
男性	0	0	0	1	0	1	94	0
女性	1	1	3	3	0	8	95	101
合計	1	1	3	4	0	9	平均87.0	平均86.8

### (3) 介護度別利用者数（令和3年3月31日現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	R元年度
男性	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0
女性	0	1	1	5	1	0	8	2.7	2.7
合計	0	1	2	5	1	0	9	2.7	2.7

### (4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度
延利用者数	270	279	270	279	279	270	279	253	249	271	252	279	3,230	3,247
実員	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9		
稼働率	100	100	100	100	100	100	100	93.7	89.2	97.1	100	100	98.3	98.6%

### (5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度
ヒヤリハット報告	4	5	3	3	7	6	2	4	6	8	4	3	55	145
事故報告	2	1	0	0	0	2	1	0	1	2	0	0	9	13

### (6) 入居待機者数（令和3年3月31日現在）

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計	R元年度
男性	1	0	1	1	3	4
女性	1	1	1	3	6	3
合計	2	1	2	4	9	7

# 軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷

## 1. 運営について

ご利用者様一人ひとりの想いを尊重し、多様な個別ニーズに柔軟に対応しました。また、コロナ禍においてもご利用者様には楽しく安心して生活できるように、感染症対策を徹底し、工夫をしながら面会や行事の企画などを行いました。

## 2. ユニットにおける個別ケアの取り組み

ご利用者様の個別ケアの実現のために、「その人らしい生活」を大切に考え、ユニットケアを推進し、ご利用者様の希望や心身の状況に柔軟に対応できるように努めてまいりました。また、ご利用者様、ご家族様の希望のうえ医療機関と連携をとりながら、看取りの対応も行いました。

## 3. 安定的な収入源の確保

ご利用者様の健康を維持できるよう、医療機関と連携をはかりながら健康管理に努めました。また、空床ベッドの有効利用を促進し、ショートステイの受け入れを行いました。

## 4. 非常災害および緊急時の対応と事故防止対策

非常災害時には、迅速・適切に対応ができるよう、年2回の防災訓練の実施などにより理解を深めました。また、ヒヤリハット報告や事故報告書などによる検討を行い、事故や感染症などのまん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように努めました。

## 5. 身体拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用者様の尊厳を守るため、身体拘束などの行動を制限するケアは行っておりません。また、今後も尊厳を保持し身体拘束を行うことがないよう、研修や検討を重ねていきます。

## 6. 苦情要望への対応

面会が制限された中で、直接ご家族様と接する機会は減りましたが、日頃のご利用者様の生活の様子をお便りや電話で報告し、ご利用者様やご家族様から意見や要望を聞かせていただきました。また、苦情要望が発生した場合は、速やかな対応に心がけ、いつでも心地よくサービスを受けていただけるようにしました。

## 7. 地域の一員としての生活支援

新型コロナウィルスの影響により、行事などが自粛となり外出支援は困難な状況になりましたが、施設の中でも楽しく生活できるよう、感染予防をしたうえで行事などを実施しました。

## 8. 人材の育成・確保

職員同士でコミュニケーションを深め、何でも相談できる関係性を構築できるよう努めました。事業所内では研修を開催し知識を深め、専門性が向上することを目指しました。

### 軽費老人ホーム ケアハウス「湯ごりの郷」令和2年度利用者実績

(1)市町村別構成(令和3年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	合計
男性	5	2	0	0	0	7
女性	18	2	0	2	0	22
合計	23	4	0	2	0	29

(2)年齢別構成(令和3年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	1	0	3	3	0	7
女性	0	2	5	11	4	22
合計	1	2	8	14	4	29

(3)介護度別構成(令和3年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	2	0	4	0	7
女性	4	8	1	6	3	22
合計	5	10	1	10	3	29

(4)月別入所者数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計
延利用者数	742	823	815	814	793	804	838	831	829	835	797	891	9,812
稼働率%	85.3%	91.5%	93.7%	90.5%	88.2%	92.4%	93.2%	95.5%	92.2%	92.9%	98.2%	99.1%	92.73%
一日当たり平均	24.7	26.5	27.2	26.3	25.6	26.8	27.0	27.7	26.7	26.9	28.5	28.7	26.89
短期利用	18	43	26	7	0	8	4	26	9	4	0	0	145
入居者数	1	2	1	0	2	1	1	0	1	1	1	0	11
退去者数	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	5

(5)リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計
事故報告	2	4	5	4	7	6	5	6	3	2	4	0	48

(6)入所待機者数(令和3年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	合計
男性	11	6	3	4	1	25
女性	13	10	2	2	1	28
合計	24	16	5	6	2	53

# グループホーム 湯ごりの郷

## 1. 個別ケアの推進

ご利用者様一人ひとりが、日常生活の中で役割を持ちながらホームでの生活を過ごしていただけるように、調理や食器洗い、洗濯物の整理に職員と一緒に取り組んでいただけます。ご利用者様の状態に応じ、週1回のカンファレンスを通して、水分・食事・排せつ・歩行ケアをスタッフ全員が適切に取り組めるよう心掛けてきました。自然な排便をサポートすることで、健康的で安定した生活につながることができました。

## 2. 医療連携体制・看取り介護の強化

訪問看護ステーション・医療機関との連携により、ご利用者様の健康管理や身体の状態をより綿密に相談することで、健康管理を行いました。ご利用者様の状態や情報をご家族様と共有し、終末期の過ごし方を寄り添いながら考える機会をつくりました。何度も繰り返し検討を行うことで、後悔なくお見送りできるようサポートし、その人らしく穏やかに過ごしてもらう看取りの達成にむけ、ご利用者様を中心と看取り介護を行いました。

## 3. 人材育成・確保の強化

理念を共有し、虐待は許されることではないと、職業倫理に照らし合わすなどの学習を行いました。自立支援介護の基本的な4つのケアの知識を深めることから、排せつの場面では下剤を中止し、腸内環境の改善からの取り組みなどにより自然な排便を促すことができました。感染症対策については、標準予防策を再徹底し「職員は、感染症にかかるない、施設に持ち込まない。」を目標に取り組み、感染症による発症なく過ごすことができました。こうした事業所内研修において、知識を理解し実践することで、具体的な成果をあげ達成できた喜びを職員一人ひとりの「働きがい」とし、高瀬会で働く職員としての喜びを追求しました。

## グループホーム 湯ごりの郷 令和2年度利用者実績

### (1) 市町村別利用者数（令和3年3月31日現在）

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計	R元年度
男性	0	0	0	0	0	2
女性	14	3	0	1	18	16
合計	14	3	0	1	18	18
割合	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	100.0%	100.0%

### (2) 年齢別利用者数（令和3年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢	R元年度
男性	0	0	0	0	0	0	—	94
女性	2	0	4	11	1	18	102	101
合計	2	0	4	11	1	18	平均89.7	平均89.7

### (3) 介護度別利用者数（令和3年3月31日現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	R元年度
男性	0	0	0	0	0	0	0	—	3.5
女性	0	1	4	7	2	4	18	3.1	3.5
合計	0	1	4	7	2	4	18	3.1	3.5

### (4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度
延利用者数	513	546	525	501	555	540	558	540	558	558	502	533	6,429	6362
実員	19	19	20	18	18	18	18	18	18	18	18	19		
稼働率	95	97.8	97.2	89.8	99.5	100	100	100	100	100	99.6	95.5	97.87%	96.57%

### (5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度
ヒヤリハット報告	5	19	20	29	14	8	21	15	10	17	21	11	190	65
事故報告	1	2	0	1	1	0	1	2	2	1	1	3	15	12

### (6) 入居待機者数（令和3年3月31日現在）

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計	R元年度
男性	4	2	0	1	7	9
女性	8	7	0	2	17	4
合計	12	9	0	3	24	13

# 小規模多機能ハウス 湯ごりの郷

## 1. 運営について

介護や支援が必要な状態になっても、ご利用者様が今までに築いてきたご家族様や地域との関係を大切にし、住み慣れた地域で今までと変わりない暮らし続けるよう取り組んできました。また、馴染みの関係や場所で、認知症があっても仲間と一緒に安心ある生活ができるよう、ご利用者様の思いや望み、心身の状況などに応じて「通い」・「泊まり」・「訪問」を柔軟に組み合わせ、365日24時間切れ目のない支援でご利用者様の安心ある暮らしを目指して取り組みました。

## 2. 「地域の中でいつまでも笑顔で過ごせるように」にもとづいた支援

事業所理念を目指し、ご利用者様一人ひとりの気持ちに向き合い、思いや望み・心身の状況や環境を理解し、ご利用者様が大切にしてきたものを一緒に大切にしながら、地域での暮らしを継続できるようご利用者様本位の支援に努めました。

## 3. 柔軟で一体的・継続的な支援

ご利用者様に、「通い」「泊まり」「訪問」サービスを提供しながら、できる限り自宅での暮らしを継続できるよう支援してまいりました。また、重度の医療・介護が必要な方には、医療機関や施設・在宅サービスを紹介してご利用者様にあったサービスが受けられるよう支援いたしました。

また、電話での見守り・緊急時の相談や訪問を行い、ご利用者様が地域の中で安心して過ごせるよう支援いたしました。

## 4. 身体拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用者様の尊厳を守るため、身体拘束などの行動を制限する行為は行っておりません。また、日頃から委員会活動を通じ、ご利用者様やご家族様への対応や言動を振り返る機会を持ち、「個人の価値」を大切にできるケアを目指しました。

## 5. 非常災害および緊急時の対応と事故防止対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できる緊急連絡体制を整備し、市町村や地域との応援体制や情報交換を運営推進会議などで行い、対応について検討を重ねました。また、ヒヤリハット報告や事故報告書による検討を行い、大きな事故や感染症などのまん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように努めました。

## 6. 地域で暮らし続けることへの支援

ご家族様やボランティアの受け入れ、地域行事などへの参加により、地域の方との交流や触れ合いの機会を多く持っています。また、積極的に外出し、見慣れた景色や馴染みの場所を大切にし、地域に密着した暮らし続ける支援に心がけました。

## 小規模多機能ハウス「湯ごりの郷」 令和2年度利用者実績

(1)市町村別構成(令和3年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	合計
男性	4	2	6
女性	7	2	9
合計	11	4	15
割合	73%	27%	

(2)年齢別構成(令和3年3月31日現在)

	69歳以下	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	合計
男性	0	0	3	3	0	6
女性	0	0	3	6	0	9
合計	0	0	6	9	0	15

(3)介護度別構成(令和3年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	2	1	2	0	0	5	1.8
女性	1	2	5	0	1	9	2.8
合計	3	3	7	0	1	14	2.3

	要支援1	要支援2	合計
男性	1	0	1
女性	0	0	0
合計	1	0	1

(4)月別利用者数(月末時)

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計
通い	303	335	338	320	359	356	392	347	359	374	310	360	4,153
泊まり	210	247	241	222	277	272	294	247	267	281	242	277	3,077
訪問	0	0	0	0	0	0	2	3	4	0	0	0	9
合計	513	582	579	542	636	628	688	597	630	655	552	637	7,239
登録者数	19	19	17	18	17	17	17	16	16	16	15	15	202

(5)リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計
事故報告	3	3	2	0	4	1	1	2	1	1	0	1	19

# ふれあいサロン ゆかし庵

## < 介護予防通所介護・通所介護 >

### 1. 運営について

通所介護や要支援と認定されたご利用者様や、日常生活になんらかの支障をきたしているご利用者様が、できる限り居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援や機能訓練などを行いました。

### 2. 処遇について

#### 食 事

ご利用者様の心身の状況や嗜好を考慮した、食事の提供に努めました。

#### 入 浴

一般浴槽を使用し安全に入浴できるよう、洗身・着脱・移動の見守りや一部介助を行いました。

#### 排せつ

ご利用者様の排せつ能力に応じた、排せつ介助（声かけ・誘導など）を行いました。

#### アクティビティ

ご利用者様のニーズ・趣味・特技などを把握したうえで、通所介護サービス計画にもとづきアクティビティを実施しました。

#### 機能訓練

ご利用者様の身体能力にあわせて、体操などを実施しました。

#### ご家族様との連携

ご利用者様の生活状況や身体状況を記した連絡帳を用いて、ご家族様との連携に努めました。

#### 介護予防通所介護・通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりのADL（日常生活動作）能力に応じた、介護予防通所介護サービス計画を作成し、適切なサービスを提供しました。

#### 地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携

ご利用者様の利用状況や生活の変化などについて、ケアマネージャーに随時報告し相互に連携をはかりました。

## < 閉じこもり予防事業 >

### (那智勝浦町介護予防事業)

#### 1. 運営について

家庭に閉じこもりがちなご利用者様に対して、閉じこもりの原因となる身体的・心理的・社会的環境要因を踏まえて、通所サービスによる支援を行うとともに、社会交流につながるような、きっかけ作りの場を積極的に提供しました。

#### 2. 処遇について

- (1) ご利用者様一人ひとりの血圧・脈拍測定を行い、健康管理に努めました。
- (2) 社会との交流が積極的にできるよう、創作活動・脳トレーニングなどの共通の活動やレクリエーションを行いました。

## < 生活支援事業・生活機能改善事業 >

### (那智勝浦町任意事業)

ご利用者様の利用はありませんでした。

## ふれあいサロン「ゆかし庵」 令和2年度利用実績

#### (1) 要介護別年間延利用者数（単位:人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
R元年度	355	376	429	337	77	52	8	1,634	58.0%
R2年度	422	309	962	959	486	228	19	3,385	55.0%

#### (2) 実人員・延べ人員（単位:人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人員	R元年度	22	22	22	24	25	24	25	27	26	25	25	30	297	109.0%
	R2年度	53	44	45	46	43	44	39	41	39	38	42	44	518	196.0%
延べ人員	R元年度	140	146	129	145	129	129	136	137	130	134	122	157	1,634	102.0%
	R2年度	330	279	295	317	299	287	281	257	257	242	258	283	3,385	207.0%

## (3) 利用者平均介護度

平均	R元年度	2.2
介護度	R2年度	2

## (4) 年間営業日数

年間	R元年度	155
営業日数	R2年度	310

## (5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

	那智勝浦町	太地町	R2年合計	R元年合計
男	6	3	9	6
女	30	5	35	29
合 計	36	8	44	35

## (6) 年齢別登録利用者数(単位:人)

令和3年3月31日現在

~65歳	65歳~70	70歳~75	75歳~80	80歳~85	85歳~90	90歳~95	95歳~	合 計
0	0	3	1	4	11	23	2	44

## (7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

分 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計	R元年度合計
ヒヤリハット報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事 故 報 告	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
合 計(件)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0

## &lt;閉じこもり予防事業&gt;

## 年間延利用者数

町 名	利用者数(人)
那智勝浦町	299

## &lt;生活支援事業&gt;

## 年間延利用者数

町 名	利用者数(人)
那智勝浦町	0

## &lt;生活機能改善&gt;

## 年間延利用者数

町 名	利用者数(人)
那智勝浦町	0

# 高瀬会第2訪問介護ステーション

## 1. 運営について

ご利用者様が住み慣れた居宅において、有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう、身体の介護および生活全般にわたる家事などを適切に実施しました。

事業所が地域社会の一員であることを自覚し、地域の皆様・ご利用者様ならびにご家族様から信頼されるよう相談・助言にも関わり事業の運営に努めました。

## 2. サービスの実施状況

- (1) 居宅（介護予防）サービス計画書にもとづき個別援助計画を作成し、ご利用者様やご家族様のご要望に応じたサービスの提供に努めました。
- (2) サービスの提供にあたっては、ご利用者様の意思および人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立った支援を心がけました。
- (3) 地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、その他の福祉・医療保健サービス事業者との連携にも努め、サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- (4) 各訪問介護職員それぞれが専門職としての責任感と誇りを持ち、ご利用者様にきめ細かなサービスを提供できるよう情報の収集に努めました。
- (5) 単にサービスを提供するだけではなく、コミュニケーションをとりながら生活の質の向上（QOL）に努めました。

## 3. サービス内容について

- (1) 入浴の介助や身体の清拭、おむつ交換や更衣介助など、身体介護をご利用者様の負担を少なく適切に行い、不自由なお体でも清潔に保てるよう支援しました。
- (2) 掃除・洗濯・炊事・買い物などの家事全般を適切に援助して、ご利用者様やご家族様の負担が軽減できるよう努めました。
- (3) ご利用者様やご家族様の身近な相談相手として、介護に関することや生活状況について関係機関などとも連携して適切に指導・助言しました。

## 4. 訪問介護員としての質の向上

地域での研修や医療・介護に関わる講演などへ積極的に参加し、訪問介護員としての質の向上に努め、事業内容の改善にもつなげました。

各訪問介護員には随時研修の機会を設け、介護技術や感染症対策の技術指導ならびに社会人としてのマナー研修などを実施し、質の高い訪問介護員となれるよう育成しました。

## 5. 苦情・要望への対応

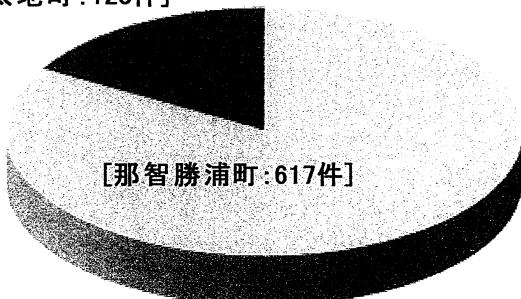
ご利用者様やご家族様からの苦情・要望に対して、早期に解決できるようケアマネージャーや各関係機関などにも協力を仰ぎ、迅速かつ適切に対応しました。

幸い大きな苦情ととらえる事例もなく、一年間事業が運営できました。

## 令和2年度 第2訪問介護ステーション実績(統計)

令和2年度 町別利用者数統計(延べ)

[太地町:123件]

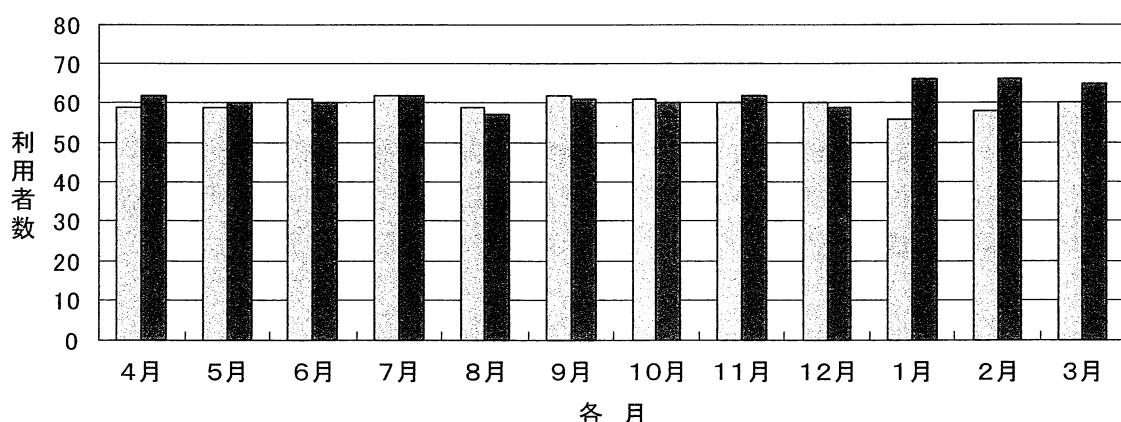


令和2年度 利用者数統計

	地域支援	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	3	26	7	12	6	5	1	1	62
5月	1	3	24	7	13	5	5	1	1	60
6月	1	4	23	7	13	4	4	2	2	60
7月	1	5	24	7	12	5	4	2	2	62
8月	1	5	21	7	11	4	4	2	2	57
9月	1	4	23	8	12	3	4	3	3	61
10月	1	4	18	10	13	3	4	3	4	60
11月	1	3	21	10	13	5	4	3	2	62
12月	1	3	21	9	13	3	4	3	2	59
1月	1	5	20	13	13	4	5	3	2	66
2月	1	3	28	8	10	7	5	1	3	66
3月	1	4	20	14	13	5	5	1	2	65
合計	12	46	269	107	148	54	53	25	26	740

前年度対比 月別利用者数

□R元年度 ■R2年度



# 古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり

## 1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」のため、介護予防・機能訓練の充実、サービスの質の確保と向上に取り組みました。

食の自立支援事業では、食事を提供するとともに、ご利用者様の安否確認を行いました。

生活支援ハウスでは、入居者様の日々の生活を見守るとともに支援を行いました。

## 2. 処遇について

### I デイサービス部門

#### (1) 通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの状態などを踏まえたうえで、作成された通所介護サービス計画にもとづきサービスを提供しました。

#### (2) 食事

献立表とともに、ご利用者様一人ひとりの身体の状況や嗜好などを考慮して、食事の提供に努めました。

#### (3) 入浴

ご利用者様の状態にあつた、入浴介助を行いました。

#### (4) 排せつ

ご利用者様の状態に応じ、声かけ・誘導による排せつ介助を行いました。

#### (5) 機能訓練

ご利用者様の心身の状況に応じて、日常生活を送るのに必要な身体機能の維持に努めました。

### II 配食部門

おおむね65歳以上の単身世帯・高齢者のみの世帯で、調理が困難な方を対象にして、栄養バランスのとれた食事による配食サービスを行いました。

### III 居住部門

デイサービスのご利用者様との交流や、各種相談・助言などを行うとともに、在宅福祉サービスを必要とするご利用者様については、その利用手続きについて援助を行いました。

## 古座川町高齢者生活福祉センターささゆり 令和2年度利用実績

### (1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	事業対象者(1)	事業対象者(2)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
R元年度	443	462	1109	369	162	0	0	2,545	65.8%
R2年度	593	467	1092	148	187	0	0	2,487	64.0%

### (2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人数	R元年度	32	30	31	34	33	34	33	30	33	33	32	33	388	
	R2年度	32	33	33	35	33	33	34	33	33	33	32	35	399	102.8%
延べ人数	R元年度	213	214	209	238	209	213	232	192	203	204	198	220	2,545	
	R2年度	216	223	221	225	191	214	211	207	201	191	185	202	2,487	97.7%

### (3) 利用者平均介護度

平均	R元年度	1.16
介護度	R2年度	1.06

### (4) 年間営業日数

年 間	R元年度	258
営業日数	R2年度	259

※事業対象者も含む

### (5) 登録利用者数 (単位:人)

3月31日現在

	R2年度	R元年度
男性	6	8
女性	29	25
合 計	35	33

### (6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和3年3月31日現在

65歳まで	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合 計
0	0	1	2	3	8	16	5	35

### (7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計	R元年度合計
ヒヤリハット報告	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	7	8
事故 報 告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	7	8

### (8) 食の自立支援事業(配食サービス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度合計	R元年度合計
配 食 数	147	142	141	140	140	145	126	129	133	134	134	150	1,661	1,459

### (9) 生活支援ハウス(居住)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 居 者 数	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7

# 南紀ケアプランセンター

## 1. 運営について

介護保険制度における要介護者が各種サービスを利用できるよう、ご利用者様とご家族様からの委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整のうえ居宅介護支援を行いました。

(延べ件数 953 件、詳細別紙)

## 2. 事業内容

### I 居宅介護支援業務および介護予防支援委託業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ 利用できるサービスの内容などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ 新型コロナ感染症対策のため、事前に聴取をしながらサービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ ご利用者様にサービスの内容についての説明を行ったうえで、居宅介護サービス計画（ケアプラン）およびサービス利用票の作成を行い同意を得ました。
- ・ 新型コロナ感染症対策を行いながら、ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施ならびにサービスの調整・変更を行いました。
- ・ ご利用者様が、在宅生活が困難で入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て医師の意見を聴取しました。
- ・ ご利用者様が入院した際には、ご利用者様・ご家族様のご理解を得たうえで病院に情報提供しました。また、退院する際には、不安なく在宅生活が送れるよう病院スタッフと連携をはかりました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、各事業所と連絡を取りながら調整を行いました。

## II 介護保険内のその他のサービスの提供

### (1) 福祉用具購入費支給申請の手続き

福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、受領委任払いを含む購入費の支給手続きを行いました。

### (2) 住宅改修の手続き

手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告するとともに保険者に事前連絡し改修を依頼しました。また、改修実施後に受領委任払いを含む介護保険支給の手続きを行いました。

### (3) 給付管理業務

サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成のうえサービス費の請求業務を行いました。

### (4) 介護支援専門員研修

- ・ 県主催の現任研修を受講するとともに、事業所内でも研修会を開いて専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

## III 多職種連携

### (1) 医療機関との連携

- ・ 複数の医療機関との連携を強化するため、県や医療機関・他機関とともに医療と介護の連携について協議を重ね、関係が作れるよう取り組みました。
- ・ 退院支援がスムーズに行えるよう、医療機関と連携をはかりました。

### (2) 地域ケア会議への参加

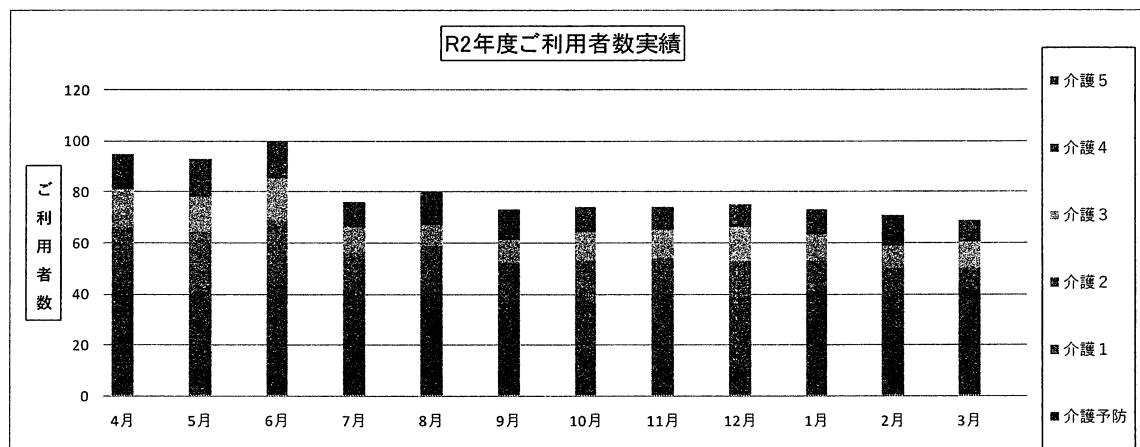
地域包括支援センターが主催する地域づくりのための地域ケア会議に参加し、関係機関のさまざまな職種の方々と協議を行いました。

### (3) 包括支援センターとの連携

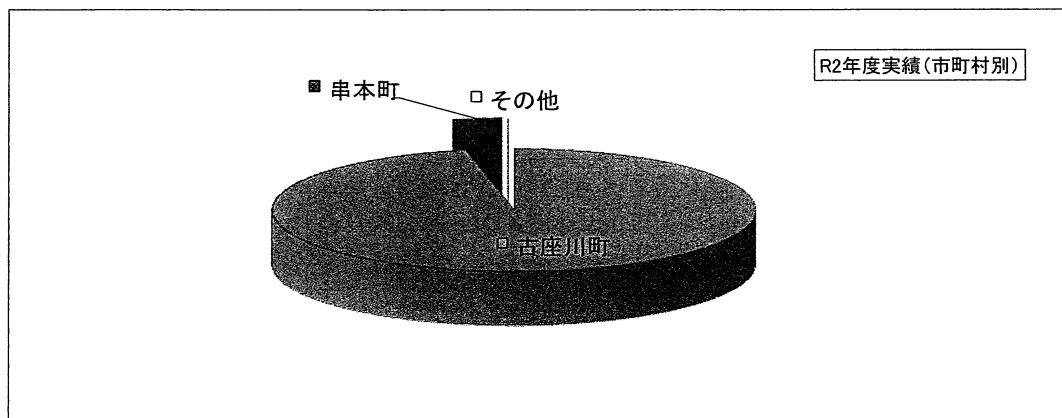
- ・ 虐待事案が発生した場合は、適宜包括支援センターおよび保険者・関係機関と協議し連携をはかりました。
- ・ 成年後見人が必要と判断されるご利用者様について、包括支援センターおよび保険者と協議を重ね、必要に応じた支援を行いました。

南紀ケアプランセンター 令和2年度実績（ご利用者数）

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	0	44	22	15	10	4	95	95
5月	0	41	23	14	10	5	93	93
6月	0	45	24	16	10	5	100	100
7月	0	38	18	10	6	4	76	76
8月	0	41	18	8	9	4	80	80
9月	0	36	16	9	8	4	73	73
10月	0	37	16	11	7	3	74	74
11月	0	38	16	11	7	2	74	74
12月	0	39	14	13	7	2	75	75
1月	0	41	12	10	8	2	73	73
2月	0	39	11	9	8	4	71	71
3月	0	42	8	10	6	3	69	69
合計	0	481	198	136	96	42	953	953



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	474	191	119	96	42	922	922
串本町	0	7	7	17	0	0	31	31
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	481	198	136	96	42	953	953



# 南紀ケアプランセンター那智勝浦

## 1. 運営について

要介護の状態となったご利用者様に対し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、ご利用者様やご家族様の意向にもとづき、適切に保健・医療・福祉サービスなどを総合的かつ効率的に提供し、チームとしてのケアに努めました。

また、各種サービスの提供が常にご利用者様の立場にたって公正中立に行われているかを確認し、各役場福祉課・地域包括支援センターや介護保険施設などとも連携をはかり事業の運営に努めました。

## 2. 事業内容

### I ケアマネジメント業務

- ご利用者様・ご家族様のニーズを正確に把握するため、アセスメントシートを活用し、真の要望にお応えするよう努めました。また、自立支援につながるよう、インフォーマルサービスを位置づけ、居宅サービス計画書を作成しました。
- 支援目標にむけてサービスが適切に提供され、ニーズの解決につながっているか、事業所からの実施状況報告書や個別援助計画書の提出を依頼し、連携をはかりながらご利用者様の状態の変化に迅速に対応できるよう努めました。
- ご利用者様宅に適宜訪問して、生活目標の達成度を確認し、必要に応じてサービス計画書の見直しを行い、生活課題の解決に努めました。

### II その他の支援業務

- 介護保険給付サービス以外にも、近隣の医療情報の提供や配食サービス、介護用品支給事業などのインフォーマルサービスなども積極的に助言し支援しました。

## 3. 専門職としての相談業務

専門職の役割が果たせるよう、常に窓口はオープンにし、ご利用者様のご家族様や地域の方々、各種事業所などから気軽に相談していただけるように努めました。

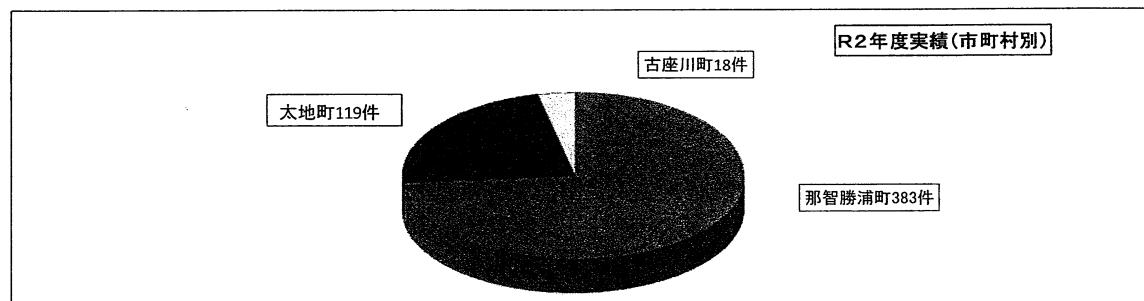
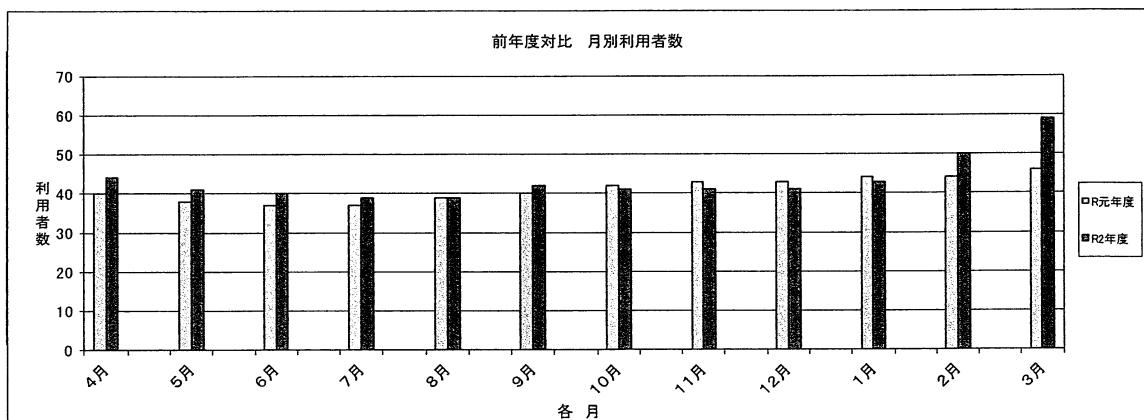
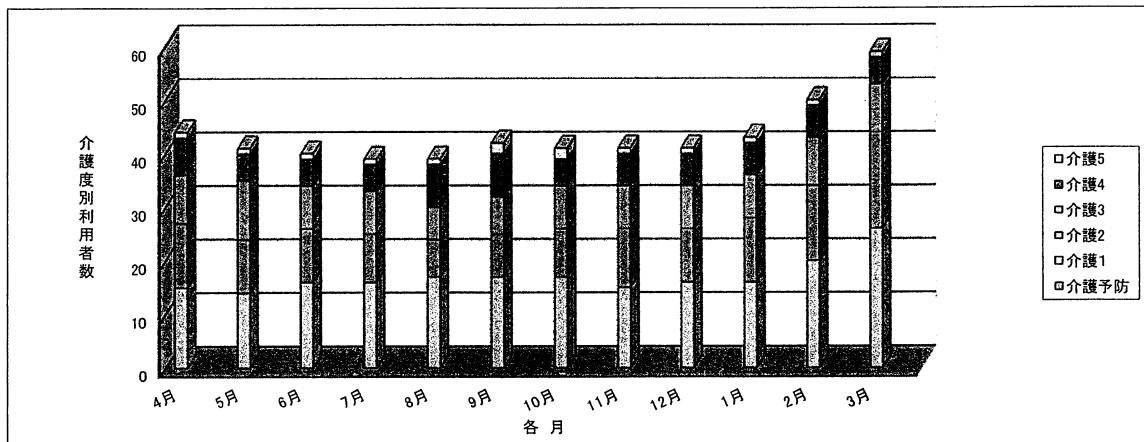
## 4. 高齢者の権利の養護

事業所が関わるケースからは虐待と思われる事例はなく、ご利用者様の権利が擁護できました。各種事業所とも連携をはかり早期の発見・予防に努めました。

南紀ケアプランセンター那智勝浦 令和2年度実績

( 単位 : 人数 )

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	0	15	12	9	7	1	44	44
5月	0	14	10	11	5	1	41	41
6月	0	16	10	8	5	1	40	40
7月	0	16	9	8	5	1	39	39
8月	0	17	7	6	8	1	39	39
9月	0	17	8	7	8	2	42	42
10月	0	17	9	8	5	2	41	41
11月	0	15	11	8	6	1	41	41
12月	0	16	10	8	6	1	41	41
1月	0	16	12	8	6	1	43	43
2月	0	20	14	9	6	1	50	50
3月	0	26	18	9	5	1	59	59
合計	0	205	130	99	72	14	520	520



# 南紀ケアプランセンター串本

## 1. 運営について

介護保険制度における要介護者が各種サービスを利用できるよう、ご利用者様とご家族様からの委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整のうえ居宅介護支援を行いました。

(延べ件数 558 件、詳細別紙)

介護予防支援については、地域包括支援センターからの委託を受け、地域包括支援センターと契約されたご利用者様のサービス計画を作成し、各種サービス事業者との連絡調整のうえ介護予防支援を行いました。 (延べ件数 28 件、詳細別紙)

## 2. 事業内容

### I 居宅介護支援業務および介護予防支援委託業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ 利用できるサービスの内容・利用料などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ ご利用者様が、在宅生活が困難で入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て医師の意見を聴取しました。
- ・ サービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ 居宅介護サービス計画（ケアプラン）・サービス利用票の作成を行いました。
- ・ ご利用者様へのサービス内容の説明と、サービス利用票への同意を得ました。
- ・ ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施、ならびにサービスの調整・変更を行いました。
- ・ 介護予防支援についても、上記の同様の業務を行うとともに、地域包括支援センターへの報告と書類提出を行い、指導を受けながらご利用者様の状態に沿った予防支援を行いました。

## II 介護保険内のその他のサービスの提供

### (1) 福祉用具購入費支給申請の手続き

福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については購入費の支給手続きを行いました。

### (2) 住宅改修の手続き

手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告をしました。また、改修実施後に介護保険支給の手続きを行いました。

### (3) 給付管理業務

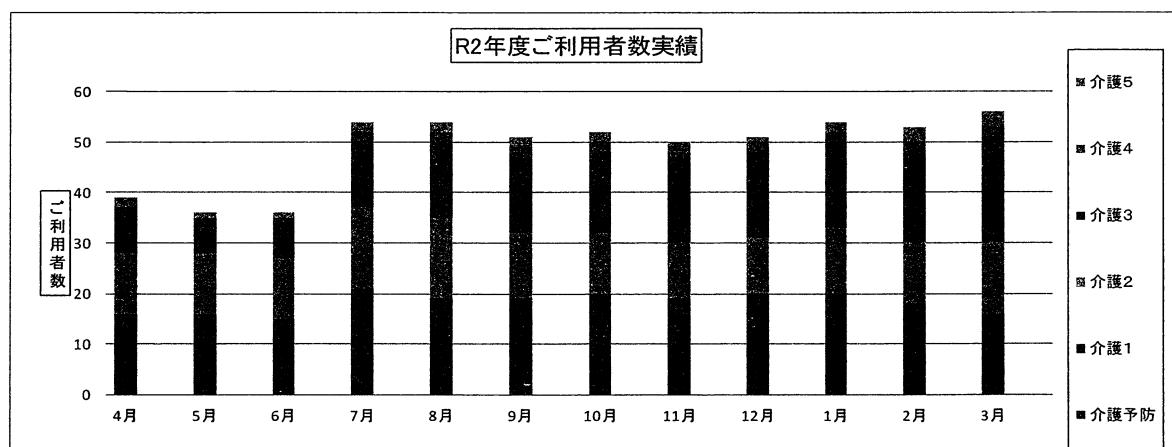
サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成のうえサービス費の請求業務を行いました。

### (4) 介護支援専門員研修

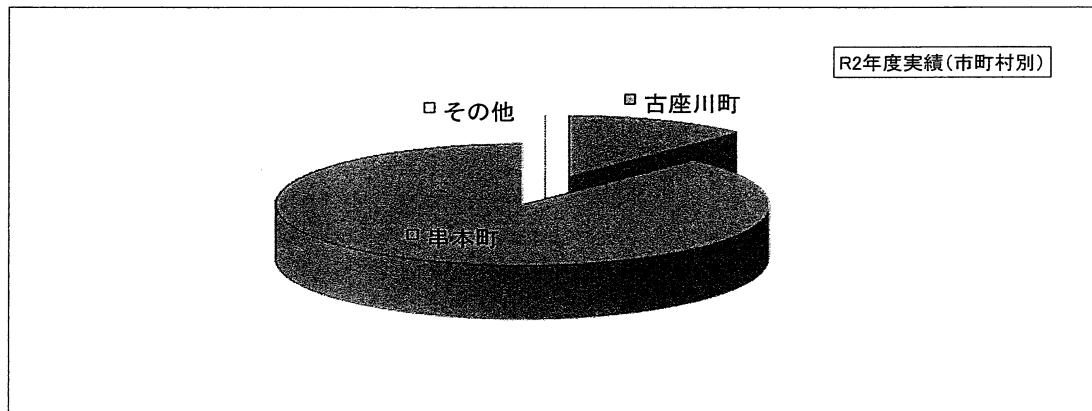
- ・ 県主催の現任研修、介護予防支援従事者就任時研修および現任研修を受講するとともに、研修会を開いて専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

南紀ケアプランセンター串本 令和2年度実績（ご利用者数）

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	3	13	12	9	0	2	36	39
5月	3	13	12	7	0	1	33	36
6月	3	12	12	8	0	1	33	36
7月	3	18	16	13	2	2	51	54
8月	3	16	16	15	2	2	51	54
9月	2	17	13	15	2	2	49	51
10月	2	18	12	16	2	2	50	52
11月	2	17	11	17	1	2	48	50
12月	2	18	11	17	2	1	49	51
1月	1	19	13	17	2	2	53	54
2月	2	16	12	18	2	3	51	53
3月	2	14	14	21	2	3	54	56
合計	28	191	154	173	17	23	558	586



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	37	3	9	13	5	67	67
串本町	28	154	151	164	4	18	491	519
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	28	191	154	173	17	23	558	586



# 高瀬会訪問看護ステーション

## 1. 運営について

主治医の指示のもと、あらゆる世代のご利用者様の心身機能と生活機能の維持・向上を目指し、疾病や障害を持ちながらも安心して自立した在宅生活が送れるよう、ご利用者様とご家族様の支援に取り組みました。

ご利用者様の意向を十分に把握した援助を目指して、ご利用者様一人ひとりに応じた訪問看護計画を作成して取り組むとともに、個別研修や職員間の情報共有に重点を置き、質の高いサービスの提供をはかりました。

## 2. サービス提供について

- (1) 主治医の指示書と居宅サービス計画書にもとづいて具体的な個別援助計画を作成し、ご利用者様の要望に応じたサービスの提供を行いました。
- (2) ご利用者様の病状変化と心身の状況あるいは環境などについて、的確に把握するよう努めるとともに、ご利用者様とご家族様に適切な指導を行いました。
- (3) 感染症対策を徹底し、ご利用者様とご家族様の人権に配慮し適切な援助に努めました。
- (4) ご利用者様の意思や人格を尊重し、ご利用者様の立場に立ってサービスを提供しました。
- (5) 地域との結びつきを重視し、主治医・居宅介護支援事業者・関係市町村などと密接な連携をはかるよう努めました。
- (6) 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」を遵守しました。

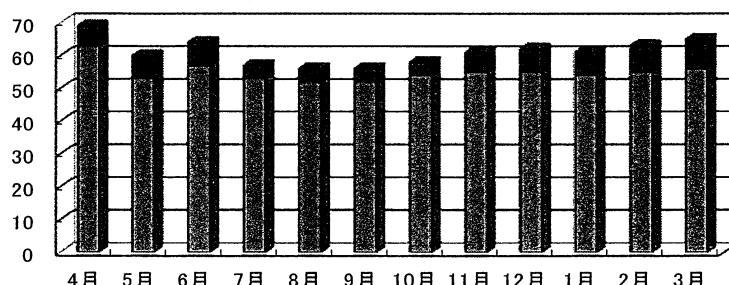
## 3. 苦情対応について

ご利用者様やご家族様からの苦情に対して、「苦情申し出窓口」を設置するとともに苦情受付担当者を配置し、「苦情解決要綱」にしたがい迅速かつ適切に対応しました。

## 令和2年度 高瀬会訪問看護ステーション 実績

令和2年度件数別実績

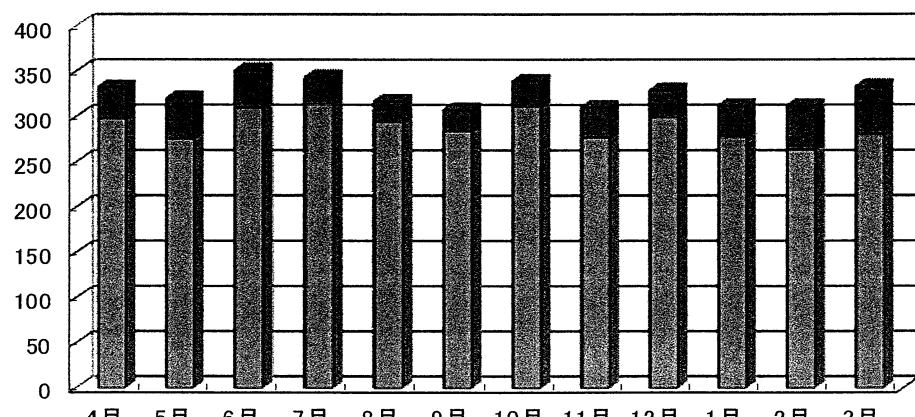
	介護保険	医療保険	合計
4月	63	6	69
5月	53	7	60
6月	57	7	64
7月	53	4	57
8月	52	4	56
9月	52	4	56
10月	54	4	58
11月	55	6	61
12月	55	7	62
1月	54	7	61
2月	55	8	63
3月	56	9	65
合計	659	73	732



■ 医療保険  
□ 介護保険

令和2年度種別実績回数

	介保回数	医療計	合計
4月	298	34	332
5月	276	44	320
6月	310	41	351
7月	314	29	343
8月	294	23	317
9月	284	23	307
10月	311	28	339
11月	277	33	310
12月	299	30	329
1月	278	34	312
2月	264	48	312
3月	280	53	333
合計	3,485	420	3,905



■ 医療計  
□ 介保回数

# 配食サービスセンター

## 1. 運営について

古座川町より委託を受けて、事業を実施しました。

実施日数は年間 309 日であり、年間の延利用者は 7,939 名、1 日平均 25.6 名の利用でした。

## 2. 事業実施

調理が困難な単身世帯や高齢者世帯を対象にして、毎日の利用のみならず状況に応じて突発的な利用の申し込みにも対応し、ご利用者様の食事への不安の解消に努めました。

栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、居宅を定期的に訪問することにより、ご利用者様の安否確認を行いました。

# 湯ごりの郷 配食サービスセンター

## 1. 運営について

那智勝浦町より、平成24年5月7日から委託を受け事業を実施し8年目を迎えました。

実施日数は12か月間258日で、12か月間の延べ利用者数は8,213名、1日平均31.8名の利用でした。利用者数は令和元年度より1,746名の減となりました。要因としては、民間の配食事業者が増えたためと思われます。

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,320	1,547	1,404	1,344	1,441	1,306	1,443	1,414	1,264	1,139	1,112	1,185	15,919
日 数	20	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	255

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,137	1,253	1,146	1,109	1,155	1,008	1,142	1,055	930	925	822	825	12,507
日 数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	871	953	846	941	870	826	884	794	747	676	722	829	9,959
日 数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	22	258

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	786	710	720	746	727	682	687	635	637	605	607	671	8,213
日 数	22	21	22	23	21	22	22	21	21	20	20	23	258

## 2. 事業実施

身体や世帯の状況などにより、食事を作ることが困難な高齢者の方々に、栄養の取れる食事を配達し安否確認を行いました。日中より玄関を施錠したままの方、台所や自室まで持参しなければ食事が出来ない方などが増えています。

今後も、高齢者の在宅生活の維持および福祉の増進に努めます。

# 古座川町地域包括支援センター

## 1. 運営について

古座川町より委託を受け、事業を実施しました。保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士の三職種を配置し、介護予防事業や認知症・虐待対応・成年後見に関する相談などにも専門職として積極的に取り組み、高齢者の総合相談・支援業務を行いました。

## 2. 事業内容

### (1) 総合相談・支援業務

- ・ 地域高齢者やそのご家族様からの様々な相談を受け、ニーズを的確に把握し保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるよう適切な機関につなげ、必要な援助を行いました。
- ・ 潜在的なニーズを持つ高齢者を見い出し、保健・医療・福祉における必要な援助を行いました。
- ・ 多種多様なニーズに対応するため、行政・医療・福祉の機関や地域活動を行う様々な機関との話し合いの機会を持ち、連携できる体制づくりを行ってきました（地域ケア会議の活用）。

### (2) 介護予防ケアマネジメント業務

- ・ 高齢者が主体的な活動と参加意欲を高めることができるよう支援を行いました。
- ・ 総合事業の対象者（介護予防ケアマネジメント）および要支援認定者（介護予防支援）に対し、継続的に一貫した介護予防プランの策定・評価などをを行うとともに、適正な介護報酬請求・給付管理などを行いました。
- ・ 「食」に関わるサービスを計画的・有機的に利用できるように努めました。

### (3) 福祉用具・住環境整備相談

- ・ 高齢者の心身状況に応じた介護用品・福祉用具の活用や住宅改修により、生活や介護の質を高められるよう相談や指導・助言を行いました。

### (4) 権利擁護業務

- ・ 高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業として、成年後見制度の相談受付・専門への紹介など、状況に応じて関係機関と連携しながら支援を行いました。また、認知症や虐待、閉じこもりなどといった高齢者に対し、状況に応じたネットワークで適切な支援・継続的な見守りを行いました。
- ・ 認知症の方々や介護者が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、「認知症を知り、認知症の人や家族を見守る」 サポーター養成講座を開催しました。

#### (5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・「医療と介護の連携意見交換会」を今年度も継続し、各病院と各市町村の居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携をはかりました。
- ・地域の高齢者の状態に対応したケアマネジメントがはかられるよう、介護支援専門員に対する個別指導・相談などの後方支援を行うとともに、串本町地域包括支援センターと共に勉強会を開催し、介護支援専門員の資質向上や他職種事業所・医療機関との連携強化をはかりました。

#### (6) チームアプローチによる運営

- ・各職種が業務全体を十分に理解し、相互に連携・協働しながら、チームとして地域包括ケアシステムを構築し業務を行いました。
- ・チーム力強化と職員の資質向上をはかるため、法人内・事業所内の研修に参加し自己研鑽に努めました。

#### (7) 広報・啓発活動

- ・地域の在宅介護に関する総合的な相談機関として周知・認識してもらえるよう、積極的に個別訪問を行い、連絡先カードを配布し、地域活動への参加や毎月1地区への戸別巡回相談にて広報・啓発活動を行いました。

### 3. 職員配置

- ・管理者および主任介護支援専門員 1名
- ・社会福祉士 1名
- ・保健師（古座川町保健師と兼務） 1名

### 4. 実施地域

- ・古座川町

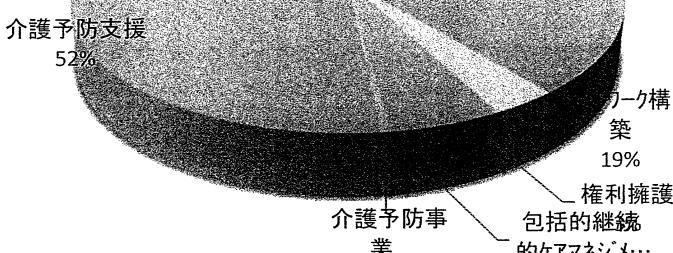
## 相談実績集計

令和2年度

相談方法	年間合計	令和2年度	
		電話	来所
文書 (FAX / Eメール)	2,619	1,587	248
その他の合計	0	0	0
合計	4,454		
総合相談支援	介護・生活相談	174	
	施設入所相談	94	
	医療・健康相談	216	
	障害者支援相談	16	
	苦情・介護事故相談	0	
	介護保険相談	501	
	状態確認	355	
	合計	1,356	
	市町村報告	76	
	医療機関との連携	193	
包括的支援業務	社会資源との連携	284	
	サービス事業所との連携	688	
	地域ケア会議開催	19	
	センター普及活動	13	
	その他の合計	0	1,273
	認知症・虐待相談	199	
	消費者被害相談	5	
	成年後見制度支援相談	18	
	合計	222	
	居宅サービス事業所相談	1	
ケアマネジメントの包括的支援業務	ケアマネジメント勉強会開催	6	
	ケアマネジャー支援相談	161	
	医療・介護の連携支援	207	
	その他(マネジメント支援)	0	
	合計	375	
	介護予防ケアマネジメント	2	
	介護予防事業実施(協力)	28	
	合計	30	
	介護予防支援相談	2,383	
	介護予防支援計画	799	
予防居宅介護事業	住宅改修・福祉用具相談	292	
	その他(介護予防)	0	
	合計	3,474	

## 相談実績

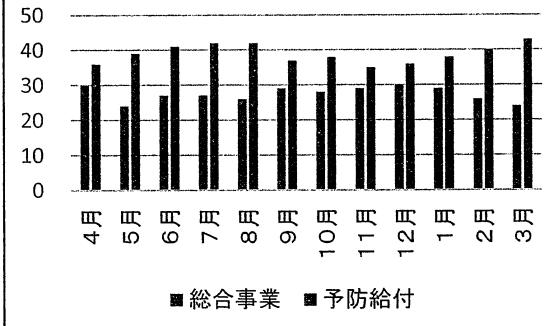
総合相談  
20%



## 介護予防支援給付件数

	総合事業	予防給付	令和2年度	
			当月給付	うち委託
4月	30	36	66	0
5月	24	39	63	0
6月	27	41	68	0
7月	27	42	69	0
8月	26	42	68	0
9月	29	37	66	0
10月	28	38	66	0
11月	29	35	64	0
12月	30	36	66	1
1月	29	38	67	1
2月	26	40	66	1
3月	24	43	67	0
計	329	467	796	3

## 介護予防支援給付件数



「食」の自立支援アセスメント  
延べ 129件 (実人数 58名)

### 地域ケア会議実施

- ・地域ケア担当者会議 17回
- ・地域ケア個別会議 1回
- ・地域ケア推進会議 1回

### 戸別巡回相談「よろず相談」

三尾川～七川地区  
(コロナ対応で自粛月あり)合計7回  
訪問先人数 51名  
・回覧にて周知  
担当地区民生委員へ挨拶

### 認知症サポートー養成講座の開催

合計2回 参加人数 31名  
実施団体: ふれあいカフェ参加者

### 認知症初期集中支援チーム活動

対象者2名  
いずれも専門医・主治医と連携、  
介護サービス利用開始

# たかせ会記念診療所

## 1. 運営について

高瀬会高齢者総合ケアセンターの各事業所と密接に連携をはかるとともに、地域住民との交流を重視する当法人の基本姿勢を踏まえて、地域密着型の保険医療機関として取り組みました。

## 2. 診 療

年間の診療者数は 267 名（前年比 51 名減、月平均 22.2 名）、年間の延べ診療回数は 316 回（前年比 37 回減、月平均 26.3 回）でした。（表 1）

表 1 診療者数・回数推移(令和2年度)

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	26	18	19	24	24	20	25	27	24	20	19	21	267
回数	26	23	20	30	32	23	29	37	27	22	23	24	316

表 2 診療者数・回数推移(令和元年度)

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	23	23	29	29	25	22	26	28	21	33	26	33	318
回数	25	26	32	32	30	22	31	28	24	40	28	35	353

## 3. 保健予防活動

インフルエンザなどの予防接種に取り組み、高齢者を中心にして、延べ 76 名（前年比 2 名増）の方に予防接種を実施しました。

また、当法人職員 232 名に対しても、インフルエンザ予防接種を実施しました。

## 4. 特殊業務などに係る健康診断

法人職員の特殊業務などに係る腰痛検査（年 2 回）を延べ 325 名（第 1 回 164 名、第 2 回 161 名）、夜勤業務従事者の定期健康診断を 67 名に対して実施しました。

# 人材育成事業

## 1. 運営について

平成 28 年 4 月 1 月より施行した「奨学金貸与規程」にもとづき、法人の理念および活動方針を理解し、法人の経営する施設での就職を希望する後継者を育成する目的で実施しています。

令和 2 年度の新規貸与者は有りません。

## 2. 事業実施

地域で開催される就職相談会での奨学金制度の説明や、地元高校の進路指導部を訪問し奨学金の広報を行いました。

また、ホームページなどを活用して、わかりやすい情報の提供に努めています。

年度別貸与状況表(令和 3 年 3 月 31 日現在)

単位:名

年 度	新規貸与者	貸与終了者	備 考
平成 28 年度	1	0	
平成 29 年度	0	0	
平成 30 年度	4	3	途中辞退2名 (准看護師、介護福祉士)
令和元年度	0	0	
令和 2 年度	0	2	途中辞退者1名 (理学療法士)
計	5	5	



